

## 第49回情報交流会の会 実施報告書 (HP)

開催日時	2022年2月5日(土) 13:30~17:10
名称・主催	第49回 情報交流会の会 ・ (公社) 日本技術士会 神奈川県支部
開催場所	Web開催 (リアル会場のないリモート開催)
行事内容	1) 神奈川県支部からの活動報告 2) 会員等によるCPD講演 3) 新会員紹介 司会：磯村
参加人数	参加者34名 (正33, 準1)   視聴者31, 講師3

### 《開催概要》

#### ■開会挨拶(松田支部長)

2月2日から4日にテクニカルショウヨコハマが開催されました。支部も出展し、ミニ講演会等を実施しましたが好評だったようです、コロナ感染対策にも配慮した運営で関係者の皆様に感謝いたします。

#### ■支部活動報告

各委員会からCPD講演などの今後の予定について紹介(支部ホームページ)がありました。

#### ■会員等によるCPD講演

##### 講演① 「持続可能な社会を目指して」

講師 株式会社パスコ 岩崎 務

講師は大学卒業後、地方公共団体で都市計画や下水道業務などの行政経験を経て現会社に就職したそうです。

現在、担当しているGIS(地理情報システム)を活用した「下水道台帳」の紹介がありました。地下に埋設されている下水道管路の位置や深さの情報によって、管理だけではなく、豪雨時などの流下能力のシミュレーションも可能となっているとのことでした。また、下水道DX(デジタルトランスフォーメーション)に関わる研究として、下水道施設共通プラットフォームや施設の広域化・共同化の推進にも取り組んでいるそうです。

最後に自身の技術士受験動機としては科学技術に関する視野の拡大や海外業務への着任目標があったそうで、目指したい将来像としては英語を活かした国際貢献やデジタルデータを自由に操れる技術者だそうです。

##### 講演② 「NEDOが取り組むカーボンリサイクル技術開発」

講師 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 荒川 純

講師が所属する機構は、エネルギー・地球環境問題の解決や関連する産業技術力の強化を目指して設立されたそうです。

現在、国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現をめざして、経済と環境の好循環の樹立による成長戦略を構築していくために「カーボンリサイクル技術」に関わる技術開発のロードマップが作成されているそうです。

この計画に沿って、幅広い技術の導入可能性を模索し、低コスト化や事業性も考慮しながら実用化に向けた技術開発や実証研究が開始されているそうです。

それは化学品分野や気体燃料分野などいくつかの分野に分かれていて、「CO<sub>2</sub>を原料としたパラキシレン製造に関する技術開発」をはじめとした複数の研究が続いているそうです。また、カーボンリサイクルに関する技術開発の実施テーマについて全国的に公募を行っているそうで、関心のある企業などからの応募を期待したいとのことでした。

##### 講演③ 「mRNAワクチンの作り方」

講師 柿谷技術士事務所代表 柿谷 均

講師は大学卒業後、東洋曹達工業(株)(現東ソー(株))に入社され、海外留学等も経験しながら長年にわたって生物工学の研究開発に従事されてきたそうです。

日本国内だけでなく世界で感染が続いている新型コロナウイルスについて、ゲノムRNAの配列に基づいたコロナウイルスの分類から説明がありました。

また、最近のコロナ感染においてデルタ株からオミクロン株に置き換わった経過と変異ウイルスの脅威ならびに感染に対する免疫(自然免疫と獲得免疫)を得るためのワクチンの必要性についての科学的な説明もありました。

現在、主流となっている「mRNAワクチン」については数十年前から研究されていて、契機となったのは「シェードウリジン」や「脂質ナノ粒子」といった要素を取り込んだことによって早期に効用が発揮されたとのことだそうです。その製造工程(配列設計⇒インビトロ転写⇒精製⇒フィルターろ過⇒製品)の説明と米国(ファイザー社)における製造過程が動画で紹介されました。

#### ■新会員紹介

最近の技術士会入会者から自己紹介等を行っていただきました。

#### ■閉会

進行(石井)より閉会の挨拶があり会の終了が告げられました。(17時10分)

